

公 表

第 1 2 回若年者ものづくり競技大会「造園」競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。

1 競技時間

標準時間	3 時間 3 0 分
打切り時間	3 時間 4 5 分

2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (4) 使用工具等は、各自必要と思われるものを使用してよい。ただし原則として電動工具の使用はできない。また、あらかじめ印をした用具などは使用を禁止する。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中に観客等と話をしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点もしくは退場を命ずることがある。
- (7) 指定された範囲内で、安全に配慮して作業を行うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、必要に応じて保護メガネを着用すること。
- (9) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (10) 競技中は携帯電話（メール、時計、電卓の使用を含む）の使用を禁ずる。
- (11) 課題と図面をプリントした用紙を、8 月 3 日受付時に配布する。競技中は配布された用紙以外にメモしたものや参考書等を参照することは禁止とする。
- (12) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3 仕様

3-1 造成

支給された客土（袋入り）を使用し、地盤を計画高に施工する。

3-2 竹垣

竹垣用の丸太、竹などを使用し、詳細図のとおり施工する。

3-3 縁石

縁石用石材を使用し図面のように敷設する。

3-4 敷石

敷石用石材を使用し、図面のとおりに施工する。

3-5 石張り（乱張り）

石張り用石材を使用し、図面のように仕上げる。砂目地とする。

3-6 植栽

中木及び低木を、図面のような感じになるよう土ぎめで植栽する。必要と思われる剪定はしてもよい。

3-7 草花植栽

支給された下草・草花を、指定された区画に修景を考慮し植栽する。

3-8 地均し・整地

仕上げの地均し、整地を行う。

4 支給材料（1名分）

品 名		寸法又は規格（mm）	数 量	備 考
縁石用石材		φ100～150 内外	20個	
敷石用石材		600×300×60	2枚	御影石 1面ビシャン 他機械切り
石張り（乱張り）用石材		厚さ 25mm 内外	0.8m ²	乱形
竹垣	丸太	末口 60 、長さ 1300	2本	
	唐竹	15～20 本じめ（4 節上がり、回り 70～90）	4本	
	シュロ縄	径 3mm、長さ 25m	2束	
	ビス	長さ 75	9本	
	クギ	長さ 45	7本	
	垂木	30×40×2000	1本	仮止用
中木		H 1500	1本	
低木		H 700	1本	
低木		H 300 W300	1株	
下草・草花			22ポット	
化粧砂			1／3袋	
客土（袋入り）			0.3m ³	軽量土壌

5 持参工具

- (1) 必要と思われる工具は持参しても良いが、手作業で行うことを原則とするため電源（発電機も含む）を必要とする電動工具や油圧を使う工具については使用出来ない。
ただし竹垣施工のビス止めに使用する充電式インパクトドリルについては持参可とする。
- (2) 工具の大きさについては特に指定はないが、通常使用している標準的な工具とする。
- (3) 充電式ドリルの刃を交換してサンダーのように使用することはできない。

6 その他の注意事項

- (1) 印刷方法等で課題図面の縮尺に誤差が発生した場合は、表示寸法を優先にすること。
- (2) 材料については都合により直前に変更することがある。
- (3) 競技終了後、課題の解体撤去作業を行う。

7 競技日程

8月3日（木） 開会式 会場下見 材料確認

集合 14 時、 開会式 14 時 30 分 終了 16 時

※ハサミ、手袋を持参すること。材料確認で植木の枝折りをはずす際にハサミ必要。

8月4日（金） 競 技 集合 8 時 30 分、 開始 9 時 終了 12 時 30 分（標準時間）

打切り 12 時 45 分（打切時間）

講 評 13 時 30 分～

解体撤去 14 時 30 分～ 16 時

8 採点項目及び配点

採 点 項 目		配 点
作 品 採 点	正確さ(客観採点)	15点
	出来栄え	70点
作業時間採点	経過時間に応じて減点	5点
作業態度採点		10点